

## 【市議会最前線】『ピンチをチャンスに』更に親しみやすく開かれた議会を目指して ＝夕張市議会（北海道）

25/11/10 08:00 Nf1

夕張市議会では、平成25年2月28日に国内で唯一の財政再生団体という立場にありながらも自由闊達な議論を通じて政策提言や政策立案を積極的に行い、市民協働の議会運営を進めながら活力ある地域づくりを進めることを誓い、議会基本条例を制定し活動を行っています。

現在、議会の活動を市民に広く知ってもらうため議会だよりを年4回発行し、現在の夕張の様々な課題について議員自らが取り組んでいる姿を掲載しています。

また、普段、仕事や家事で傍聴できない市民のために6月の定例会には夜間議会を実施しています。

ここ最近では、更に開かれた議会の実現を目的に『You Tube』で議会の様子を公開しています。

次に市民との関係性構築のため力を注いでいるのが、年1回開催している地域懇談会です。課題のある地域に出かけ、直に住民の声に耳を傾け、執行機関が示す政策などに乖離がないか常に情報収集を行っています。

一方、主権者教育の重要性から小学生との交流も活発に行われ、例年2月に議事堂において模擬議会を開催し、議会について深く学んでもらう機会を設けています。



地域との意見交換会



模擬議会

最後に、議会のICT化の取り組みについては、予算の関係もあり環境整備についてはなかなか思うようには進められない状況ではありますが、市内小中学校のタブレット端末が更新を迎え余剰となっている端末を活用し、一部、ペーパーレス化を進めているところです。今後は、無料のアプリを活用し、スケジュール管理やオンラインでの会議などを試行的に行いICT化を進めて行きたいと考えています。

地方での議会が抱える課題は、多岐にわたりますが、財政再生団体脱局後の議会運営を更に親しみやすく開かれた形となるよう取り組んでまいります。（了）